



熱い意見が交換されたパネルディスカッション

現代の北前船を探そう！ ～第2回北前船寄港地フォーラム～

4月11日、仁賀保勤労青少年ホームに約400人の聴衆が集まり「第2回北前船寄港地フォーラム」が開催されました。これは、江戸時代に北前船の航路となり日本海側の地域が繁栄したことに倣い、同地域を一つの経済圏として再び活性化させようとするもので、講演・パネルディスカッションを通して、にかほ市が有する観光資源の掘り起こしや地域の意識改革、地域間の連携などについて、提言や意見交換がされました。次回開催の名乗りを上げたパネラーの北海道松前町長が「北前船文化とスピリットを発信したい」と締め、会場からは大きな拍手が巻き起こりました。

さくらの季節にふるさとを感じて

～ワンコインふるさとコンサート～

4月19日、仁賀保勤労青少年ホームを会場に「ワンコインふるさとコンサート」が開催され、約300人の観客が、市ふるさと宣伝大使の赤岡綾子さん（ソプラノ声楽家）と五島まさをさん（洋画家）の2人による、ふるさとをテーマにした歌とトークを楽しみました。コンサートでは、観客が赤岡さんと一緒に懐かしい童謡や唱歌などを歌い、また、五島さんによる方言などを解説した笑いを交えたトークに感心していました。さくらの季節に、ふるさとの素晴らしさを改めて感じさせるコンサートとなりました。



▲赤岡綾子さんの歌と
新井ゆう子さんのピアノ伴奏



◀五島まさをさん

穏やかに見守る西施像

～道の駅象潟ねむの丘で西施像除幕式～

4月20日に道の駅象潟「ねむの丘」で西施像が建立され、除幕式が執り行われました。西施は「象潟や雨に西施がねぶの花」と松尾芭蕉が、九十九島の風景から思い浮かべた古代中国の美女で、故郷の浙江省諸暨市とにかほ市は現在、友好都市として交流をしています。西施像は「ねむの丘」西側ふれあい広場の中央に位置し、穏やかな少し憂いのある表情で、鳥海山や九十九島などの景色や、訪れる親子連れなどを見守っているかのようでした。



海を背にした西施像

人権擁護と人権思想の普及高揚に貢献された功績に対し、次の方に感謝状が贈呈されました。

法務大臣感謝状

退職人権擁護委員
須藤良一さん（松ヶ丘）
土門蓉子さん（下荒屋）



山田周二さん（琴浦）



渡部萬子さん（上狐森）

元民生委員・児童委員に対する
厚生労働大臣特別表彰

表彰

満開の桜を見ながら春を楽しむ

～にかほ市観桜会～

4月12日～27日の期間中、勢至公園と三崎公園で「にかほ市観桜会」が行われ、満開の桜を見る多くの観光客で賑わいました。各公園内では、可憐に咲き誇る満開のサクラの木の下で食事をしながらくつろぐ家族連れやボール遊びで楽しむ親子などが春を楽しんでいました。また、19日～20日には、勢至公園で金浦神楽や箏と尺八の演奏等がイベントとして行われ、市内外から訪れた観光客たちは躍動感溢れる神楽や箏と尺八の美しいハーモニーを堪能しました。栗山池公園では5月6日まで観桜会が行われています。



桜を見ながら昼食をする観光客

この川に元気に戻ってきてね

～市内小学校児童がサケの稚魚放流～

4月9日～16日、川袋川、象潟川、奈曾川、大沢川で市内小学校の児童によるサケの稚魚放流が行われました。サケの放流は、児童たちに自然とふれあいながら漁業に関心をもってもらうことを目的に、毎年行われているもので、ことしは市内の小学校8校（児童390人）が参加しました。児童たちは、小さなサケの稚魚をバケツに数十匹ずつ分けてもらい、「大きくなって元気にこの川に戻ってきてね」と願い、放流したサケの旅立ちを笑顔で見つめていました。



上浜小学校の児童たちによる稚魚放流：川袋川